



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
TEL:0593-31-1670
FAX:0593-32-0733

掲示板法話

年をとるほどわからんことが面白く、味が出る

老いは味わいが深まるチャンスである

九月になると毎年、敬老の日(今年
は十九日)の話題が取り上げられます。
以前は「九月十五日」と固定されていた
のですが、法律の改正で日が変わるよ
うになったことを、「敬老でなく、軽老
ではないか?」と思うのは、私自身も高
齢者に仲間入りしたからでしょうか?

最近新聞や辞典などを見ると、老
眼鏡が欠かせません。早速ひとつメガネ
店で作りましたが、お参りの時にもお
仏間の環境により、お経の文字が見に
くい場合が生じました。もうひとつあれ
ばいいな、と思っていた時、坊守が父の
遺品のメガネを取り出して、「これかけ
たらどう?」と言います。父が老眼鏡を
使うようになったのは晩年(八十歳以
降?)のことだと思われ、いささか抵抗
を感じました。しかし、いざ使ってみる
とぴったりで、お参りの必需品になり
ました。ある日「えんさんの老眼鏡姿、
よう似合いますわ、中々上等のメガネ
ですね」といので、「老僧の形見です」
と応じたところ、「えんさんも今は正
真正銘の老僧ですね。そのうち、(亡
き)老僧さんが呼びに来ると違いま
すか?」ときつい冗談……。



心中不快な気分になり、「我や先、人
や先ですからね……」と精一杯切り返し
ました。実際、老化現象や死をある程
度自覚することはできますが、他人に
言われると抵抗感が先立ちます。

そんなやりとりを後日思い出してい
た時、よみがえってきた話があります。

それは、京都大学の総長をなさった平
沢興先生(1900~1989、医学博士、
解剖学の権威)のお言葉です。

若き日の「門主さまとの対談の中で
「学問して、研究して、わからんことば
かりになり、改めて大自然を見ると純
粋になって、面白く、味が出てくる。わ
からんことが有難くなり、尊くなり、ま
た生きる希望を与えますね。まあ、退
屈しない。わからねばわからんほど面
白くなり、忙しくなる……」と語ってお
られました。門主が「年をとるほど忙
しくなる、というのも面白い表現です
ね」と応じておられます。(「こころの対
話」1980、より)

平沢先生は「今朝もまた起きて眼も
見え手も動くああ有難やこの身このま
ま」という歌も詠んでおられます。幼い
頃、祖母や母に手をひかれてお寺参り

をした先生ならではの深い信仰に裏付
けられた老いの喜びが伝わってきます。
老いは否定するものでなく、自然の
ままに味わいが深められるチャンスであ
る。老いを味わう時間が与えられたこ
とを喜び、同時に若者はそれを敬う心
を身につけたいですね。

- 平成23年度後半善正寺主なる行事予定
- ※9/18(日) 午前10時・午後1時・小杉仏教会主催「追悼法要」(貴島信行先生)
- ※10/15(土) 親鸞聖人750回大遠忌法要バス参拝(50名)
- ※12/3(土) 夜お内仏報恩講

☆行事ご案内☆

☆小杉町『追悼法要』

(講師 貴島信行先生 大阪)

9月18日(日)午前10時:物故者

午後1時:戦没者

主催 小杉町仏教会、長寿会、三全仏教婦人会

※9月の門信徒会例会

今月のみ、小杉町追悼法要と重なった為にお休みです

◇キッズサンガ 9月10日(土)午後4時 お友達誘って来てね
毎日夕方5時の鐘撞きは誰でもOK 飴ガム付。年中無休

◇三重組コーラス 智積西勝寺様で練習 9/5(月)午後1時半、
陽光苑慰問 9/3(土)10時半

◇8/1~31まで1ヶ月間百五銀行阿倉川支店ロビーで『善正
寺門徒展』開催 住職や門徒さんの写真、絵、茶碗など出品

◇一縁会テレホン法話059・354・1454 3分間法話聞けます

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。「つれづれ日記」が好評
長男もブログに参加、満3年で4万9千アクセス達成!平均80
以上の訪問(1日)に感謝!HPからのメール、悩み相談など大歓迎!

※10月15日(土)京都西本願寺親鸞聖人750回大遠忌法要、
8時:小杉公会所(寺より南へ徒歩3分)をバス出発、集合は15
分前には必ずお集まり下さい!数珠、門徒式章(ある人のみ)、



善正寺門徒展

8月1日~31日
百五銀行
阿倉川支店にて
ケーブルテレビ取材



坊守スケッチ

法然様と親鸞様の一番の違いは？

朝刊を読みながら住職に尋ねた。「法然様と親鸞様の一番違うところは何？」住職は突然の質問に戸惑いをみせた。実は毎日新聞(8/4)に哲学者の梅原猛先生が、そのことについて述べていた。あらかじめ答えを知っているような、意地悪な質問だった。以下は梅原先生の記事を引用する。

法然は親鸞の師。親鸞は法然の一番忠実な弟子であり、師から一目置かれた存在。法然の浄土宗に対抗して、親鸞は浄土真宗を立ち上げる意思は毛頭なかった。ではその違いはどこにあるのか？先ず『歎異抄』の悪人正機説を上げる人がいるが、源智の法然伝に既にそれは出ている。次に『二種回向の説』(念仏者が永久に極楽浄土に留まることはなく、苦しめる民を救う為にこの世に還るといふ説)をあげる人もいるが、既に法然にも存在していた。では一番の違いは何かといえ、それは実生活に天地の隔たりがある。清僧と言われた法然に対して、親鸞は肉食妻帯者。法然のパトロンの九条兼実が「多くの女性に触れている私の念仏と、法然様のような清僧の念仏は違うのではありませんか？」と問うた。「念仏は阿弥陀様から与えられたものなので、違いはありません」と答えた。「それではあなたの弟子の中から、清僧を一人選んで、私の娘と結婚させて

下さい。その僧が極楽往生できれば、私も極楽往生できると信じることを出来ませう」と頼んだ。兼実の求めに応じて、法然が白羽の矢を立てたのが、親鸞であった。親鸞は泣いて断ったが、六角堂のお告げや仲間の勧めもあって玉日姫と結婚した。現在の京都西洞院五条の兼実邸で生活した。

私は2年前の坊守会研修会で、その跡を訪ねた。案内役の今井雅晴先生に尋ねた。「玉日姫と恵信尼様はどういう関係ですか？」「恵信尼様は九条家にお仕えしていた女官と考えられる」。「親鸞様が晩年長男善鸞様を義絶されましたが、善鸞様は恵信尼様との間のお子さんですか？」「はつきりした史料がないので、それは分からない」鎌倉時代、従来の仏教のもつ女性差別がまだ激しい時代にあつて、親鸞様の結婚は女性差別を全面的に否定する新しい仏教の樹立であった。念仏による仏教救済の発案者は法然様であり、その実践者が親鸞様である。親鸞様は、夫と妻が互いに観音様として敬い合う、世界に例のない男女平等の新しい仏教の創造者であった。今年親鸞聖人750回大遠忌法要が勤まる記念すべき年。浄土真宗の歴史は、男性だけで築かれたのではない。世の中半分は女性。ブログ『住職と坊守のつれづれ日記』のアクセスが、



開設3年で5万回を迎える。私も一人の坊守として、悩める女性達の相談相手になれるように精進したい。私の実践の歩みは、いま始ったばかりだ。

☆寄稿

四日市市川崎孝一
☆穂孕みの 稲田に稗の 突出し
穂は浅黒く 我が物顔で

『いのちの理由』さだまさし作詞(2番)
私が生まれてきた訳は
何処かの誰かを傷つけて

私が生まれてきた訳は
何処かの誰かに傷ついて
私が生まれてきた訳は
何処かの誰かに救われて

私が生まれてきた訳は
何処かの誰かを救うため
夜が来て 闇おのずから染みるよう
朝が来て 光おのずから照らすよう
幸せになるために
誰もが生まれて来たんだよ
悲しみの海の向こうから
喜びが満ちてくるように
(1番の歌詞は手書き手紙に記載)

キッズサンガ・杉の子合唱団
☆9月10日(土)午後4時 友達を誘って来てね！夕方5時鐘撞きは毎日。

☆カンパ有難う☆
林寿美子様・加藤邦子様・水谷さわゑ様他お志・切手有難うございました。

♪三重組コーラス♪

- ☆練習場所は智積西勝寺様で。
- ☆9/5(月)☆10/3(月)☆10/31(月)いずれも午後1時半
- ☆11/8(火)本山記念音楽祭
- ※陽光苑慰問9/3(土)10時半
- ☆ホットニュース☆
- ☆10/15(土)親鸞聖人750回遠忌法要バス参拝、
- ※出発午前8時(時間厳守)15分前には必ずご集合下さい。乗車場所・小杉公会所(南へ徒歩3分)車は寺の駐車場へ住職、若院が揃って僧侶として出勤。
- ☆8月1日から31日まで1か月間、百五銀行阿倉川支店ロビーで『善正寺門徒展』開催！住職・坊守・長男の写真、長男嫁の書、服部雅之氏の絵、服部香苗氏の写真、堀野証嗣氏の茶碗など
- ☆善正寺のホームページ。『三重 善正寺』で検索可。毎日更新の『住職と坊守のつれづれ日記』が好評。開設3年で4万9千突破1日平均80アクセス！
- ☆住職と坊守の2冊目の共著本『鳥の眼・虫の眼・仏の眼』(自照社刊)好評発売中！挿絵は門徒の服部雅之氏)
- ☆来年(平成24年)4月21日(土)午後1時半三全仏主催の初参式に参加の赤ちゃん及び幼児を大募集！

☆編集子より☆

「善正寺だより」第二百十三号をお届けします。◇大震災からまもなく半年、暑く、節電が叫ばれる今夏は被災地には大変酷な季節だった。◇障り多き世を超える生き方を学びたいものです。

節電の夏如何お過ごしですか？、私はできるだけクーラを
使わずに、暑さに耐え続けました。頬を撫でる風に、季節の
訪れを感じる人を、風流人と呼びます。幾分涼しげな風
に秋の気配を感じるこの頃です。八月ヶ月間、百五銀行
阿倉川支店の「善正寺門徒展」に多数の皆様がお出か
け頂き有難とうございました。思わぬ人から見たよと
お声を頂き、私達の励みになりました。なせ寺以外の場
所で開催したかと言えは、寺に縁が無かつた人々に「寺の
絆は葬式や仏事だけでは無い、いろんな繋がりがあり温かいん
だよ」という興味を持ちて頂くことです。先日さだまきし作
詞作曲の「いのちの理由」という歌に出会い感動しました。
私が生まれてきた訳は父と母に出会うため、私が生まれ
てきた訳はきょうだい達に出会うため、私が生まれてきた
訳は友達皆に出会うため、私が生まれてきた訳は愛
しいあなたに出会うため、春来れば花自ずから咲くよ
うに、秋来れば葉自ずから散るようにならざる為に誰
もか生まれて来たんだよ、悲しみの花の後からは喜び
の実が実るように（以下省略）と、私が坊主になつて門
徒さん達と出会い、この春長男にお嫁さんを迎え、みんな
が一緒に「善正寺門徒展」に出品したことは、いのちの理
由があったのです。九月十六日には小杉町仏教会主催「追
弔会」があります。地域のご先祖方を偲びつつ、私が生
まれてきた訳を、聴いて自らの心に問うてみましよう。
講師は貴島信行先生、皆様の心へ参詣お待ちしております。
平成二十三年九月 合掌 善正寺坊主守輝